

增補
講義
卷一

增補算法闕疑抄序

増補算法闕疑抄の愚予教諭志練の性音初學此門才
予りゆるに作りしに感付來りてよく以日傳受て其法
音中にて易忘難免頌々旨述と述事なほりて
いびくも其に余候もと作りしに小辨と係り細かく
師傳小わく自考とく之にほりて其に云候小記之候
氏事し作りぬ然る亦小門才奉りてよく余亦中も
志乃人作りんは道のをた小記をき小登を撰し
や成らんあらん知人やとて云候とる門才やて傳の
残り作りん事少の直と道とや云はる幸成
う取挿し添て世に廣く其に色よ加りたり云

增補算法抄序

門才此も小齋と何の悔りわらん徳見のさる免てふ能
 万傍乃もいひ怒怒の種を府侍るも不道もとてや
 されし事有るがとべと何の益う侍らんや祥正
 再三及とても十子十自をのわじとて押て板行
 乃い侍るも何の万治三庚子年仲春の比いひや
 松今も亦余年償紙も小五すて終るの天徳乃
 孝小わい侍るも何の秋侍るも小中年の比いひや
 悔はまじも今も齡頌と魂氣がと終え心一善の
 考も不をもやと善本年盤の正徳も六を後りり
 こそ来る侍るも何の秋侍るも小中年の比いひや
 成ぬも侍るも善友の尋来りて善好の由や取侍る

折小ふ道てありて侍る實に印りの東門侍るや
 茅屋と侍るも侍るも感時侍るの序小人と導へんや
 お應へて道と隆異先列のうへへ適くま方は一徳と
 試て善法系教抄とて侍るも善初必は守るの小善を
 いへも大及と兼は了進乃事小彼も増補して半
 学の教者と励は使るも侍るも侍るも是と働はして
 万里と走り翼のうへへ侍るも侍るも侍るも侍るも
 縁としもいひ侍るも侍るも侍るも侍るも侍るも
 ややいのかぐら小も侍るも侍るも侍るも侍るも
 幸も侍るも侍るも侍るも侍るも侍るも侍るも侍るも
 撰て今も侍るも侍るも侍るも侍るも侍るも侍るも

元亨元年甲子年暮春此
花は名法も小記しかりゆめ

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

序。河圖。洛書。太極
兩儀。四象。八卦

六十四卦

數量

。基數出生。大數正乘
。小數下三。度數羅
。產數苗。量數品々
。衡數品々。諸數正事

諸輕重區々有之事

九歸除号起之事

九歸古来ヲ加ル事

增補算法闕疑抄 一之卷目錄

數量位名

。大枚。小枚。度枚。度枚。量枚。衡枚。法枚
諸輕重

。金。銀。銅。鉄。洗。湯。唐金。玉。瑜

。石。楠木。栗木。栗石。云。砂。水。糸

九固乘之号 九九之聲也

九歸除之号 八美之聲也

九歸除之圖 八美之別名也

頭直古来ヲ加ル事

因乘得高掛而割事

蹄除得高

西替相場割
布相場割
米相場割

因乘蹄除得高

蠟燭替之事

改直之号附圖 見一のゝ也

因乘得高 けいさん也

依石直 間丈直 知り相成也

金浪直 布代浪直 金米也

蹄除得高 又りさん也

石依直 大石也 相成知り也

浪金也 浪布也 米金也

因乘蹄除得高 懸る上と割事

長短も也 大小依也 下下也

乘除分得高 小判小粒直算

乘除分

。部之分と知事。上中下本綿分事

歩直

。屏風箔積ノ事
。繩田之分ケ

坪直

。材木替。材木賣買
。外積見分

幾直 炭義法 炭算教事

。橋合割付。小身程多割

增減法

。幾表增減和好車

。酒造算

倍加倍減

。穀物買車

。池普請人夫割

等分法

。借銀元等分

。袖布大綿等分

。塩四糶六。穀物買合

始終位定衰。拜領銀

。吸筒竹。賣屋敷

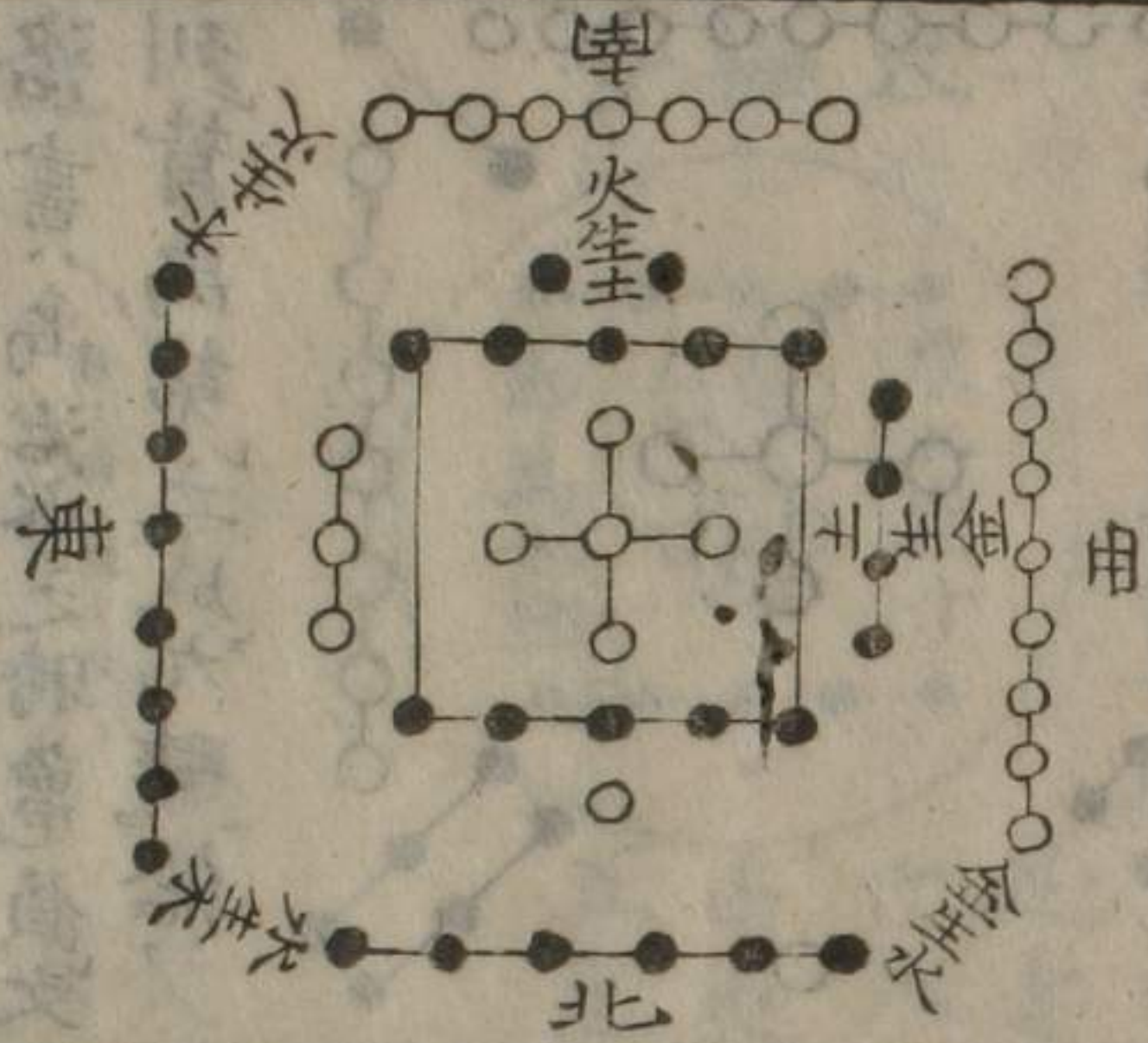
差分法。藏中米大豆分

。念佛題目分。納経分

。兩之直段分。三村付

。枚木分。絹細分ササ五

河圖伏羲之時龍馬負圖
河出是ヲ受テ八卦ヲ畫給



河圖ハ相生とて小より始
東南中西と從之此ハ行ノ
天一三五七九 數積二十五
地二四六八十 數積三十

曾謂是少一

增減法

。幾表增減和好車

。酒造算

。穀物買車

。池普請人夫割

。借銀元等分

。袖布大綿等分

。塩四糶六。穀物買合

始終位定衰。拜領銀

。吸筒竹。賣屋敷

差分法。藏中米大豆分

。念佛題目分。納経分

。兩之直段分。三村付

。枚木分。絹細分ササ五

算法闕疑抄序

古伏羲氏繼天而王受

河圖畫之八卦是也大

禹治洪水賜洛書法而

陳之九疇是也大極既

分生兩儀兩儀生四象

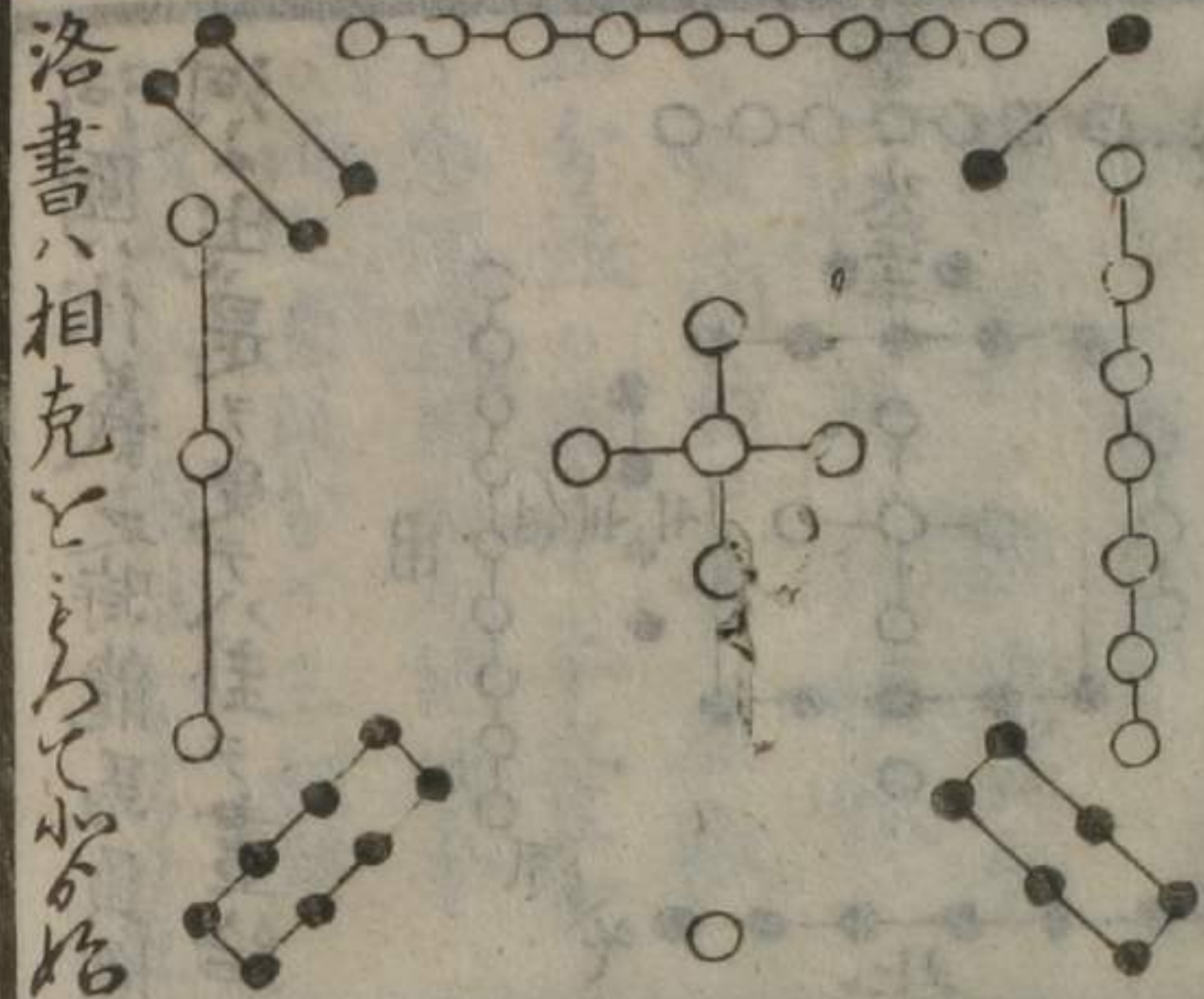
四象生八卦矣八卦分

為十六十六分為二十

二三十二分為六十四

天地共五五數求此數
以天下地十合十一也是二
地十ヲ乘テ得百十折半之
而知也

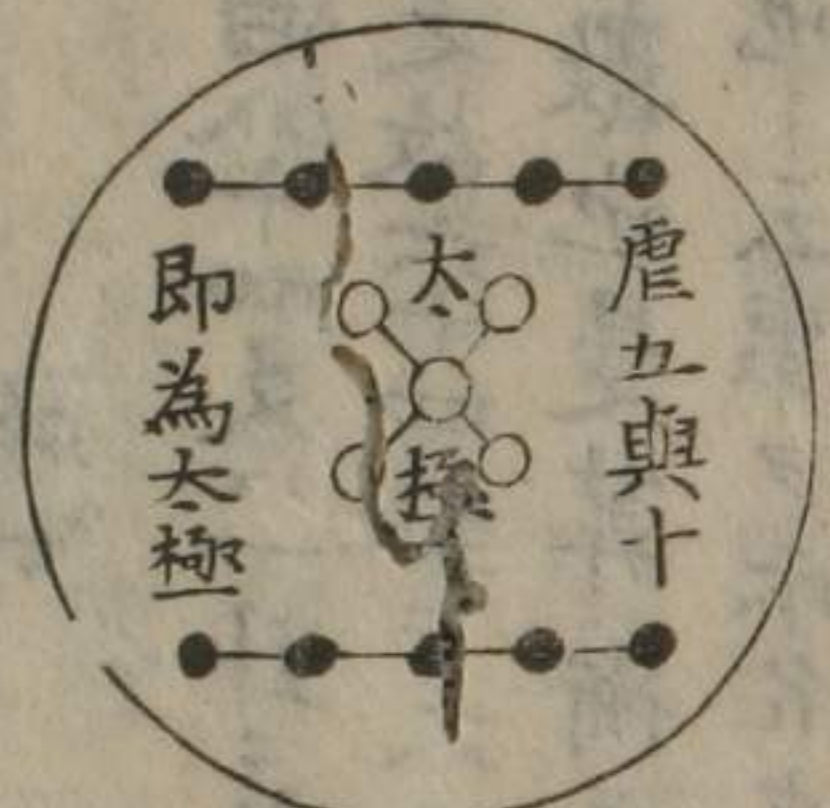
洛書禹治水之時龜負文
列背禹第之成九疇給



洛書八相克と云るは心算也

卦六十四卦分爲三百
八十四爻以至於有千
萬億兆之無窮猶根之
有幹幹之有枝愈大則
愈少愈細則愈繁是算
術之權輿欵至宋朝堯
夫先生考仰觀俯察遠
求近取之理固有超然
而默契於心矣達數之

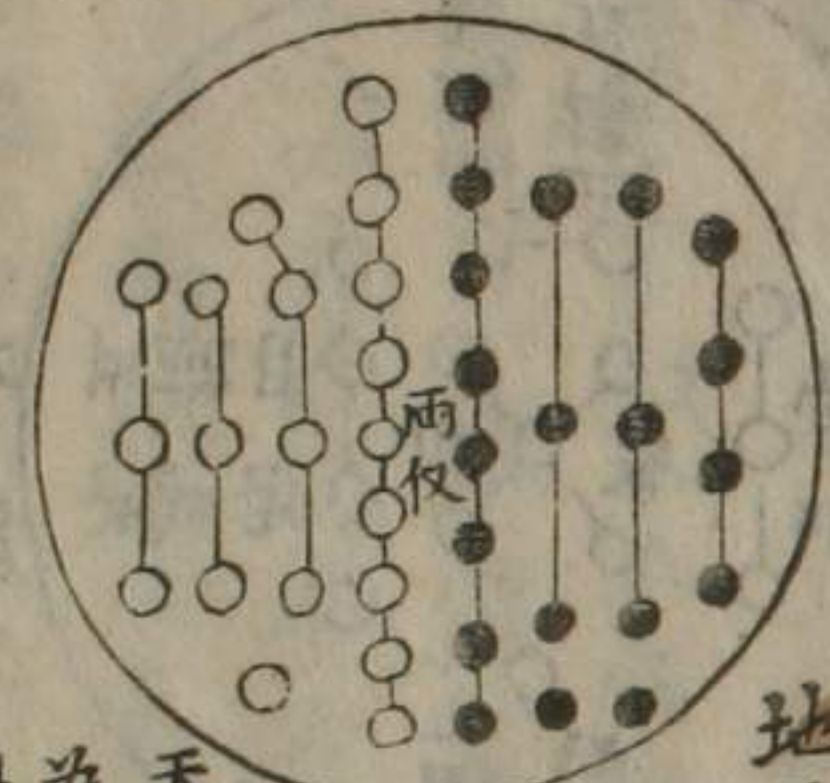
太極分



虛九與十
即為太極
五也 中央 六八 足者

西南東中史如此段右行也
他處之家らなる九といふこと
一と云ふは三右七肩二四

是生兩儀



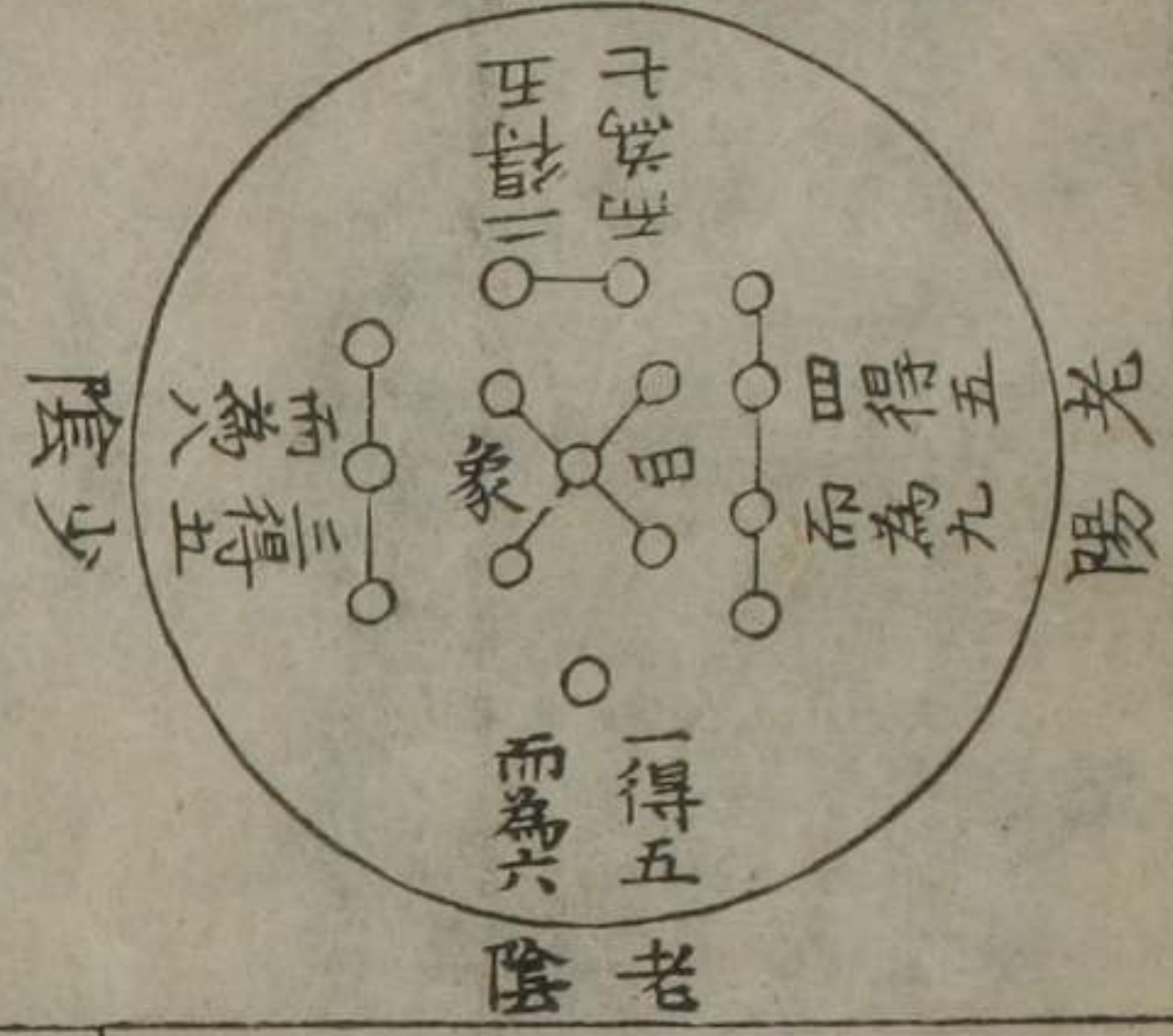
地二四六
為偶
屬陰
儀
天三七九
為奇
屬陽

旨而發其歸趣自斯世
世以術數鳴世者多矣
于茲奧州二本松之住
人磯村氏吉德達步作
筭法闕疑抄乞予標題
其初故不得止而山崎
氏立德記焉

增補是少一

六

儀兩生四象



三百八十四爻二卦三六爻完
有之故六十四卦六爻乘
名數也是算術之根
元也ト云事ヲ示名序也
六十四卦之端下ニ記之也

基数出生者

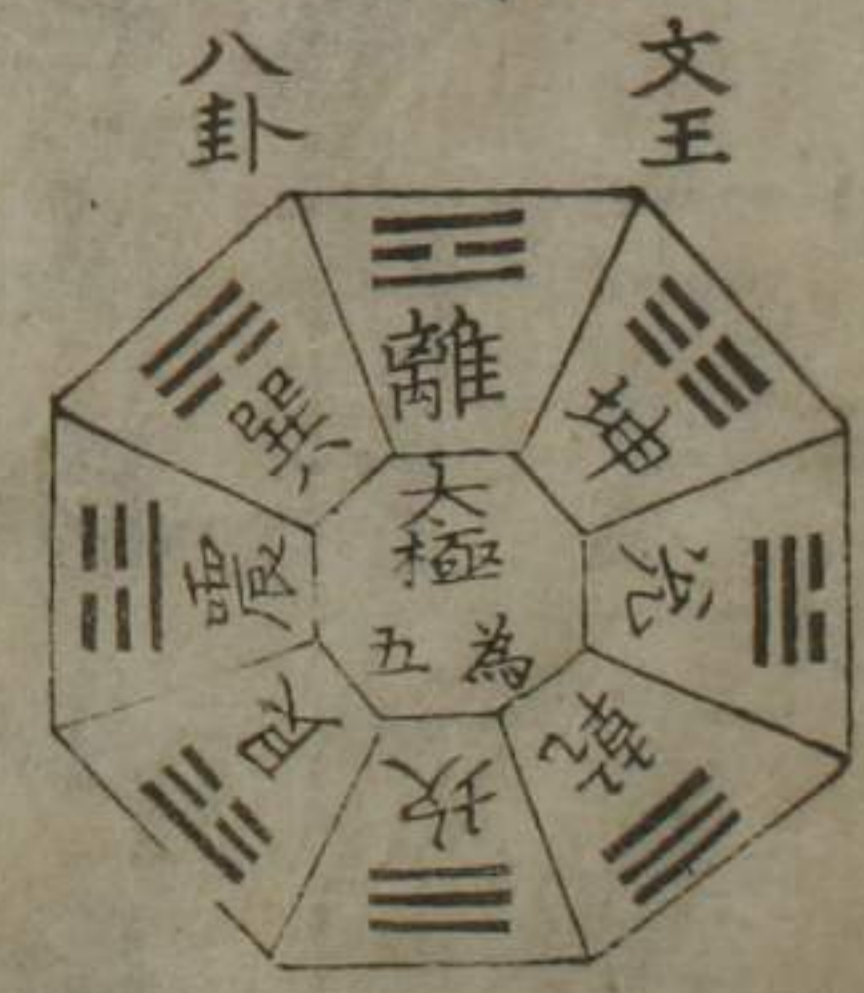
北方南方東方
一水二火三木
陽陰陽奇
西方中央水三五
四金五土六木
陰偶陽奇加ル

七火二木三金四
土五九土五
十土五倍也

右五ノ下ノ數ハ土居中央
而奇位ヲ四維應令四季
在ノ人四支也故金木水火
皆待土而後成之兼其
土ノ數立ヲ以テ成之ト也

曾謂是少一

乾	姤	遯	否	觀	剝	晉	大有	金
兌	困	華	咸	蹇	謙	小過	歸妹	金
離	旅	鼎	未濟	蒙	渙	訟	同人	火
震	豫	解	恒	昇	井	大過	隨	木
巽	小畜	家人	益	無妄	噬嗑	頤	蠱	木
坎	節	屯	既濟	革	豐	明夷	師	水
艮	賁	大畜	損	睽	履	中孚	漸	土
坤	復	臨	泰	大壯	夬	需	比	土



增補算法闡疑抄

一二三四五六七八九十

右基数ノ諸數ノ一ニ地法較多
一ノ一ニ以較小ニ一ノ一ニ

基数 大數

一十百千万

億

兆

京 小乘十兆位 大乗万兆位

垓 小乘十京位 大乗万京位

秭 小乘十垓位 大乗万垓位

穰 小乘十秭位 大乗万秭位

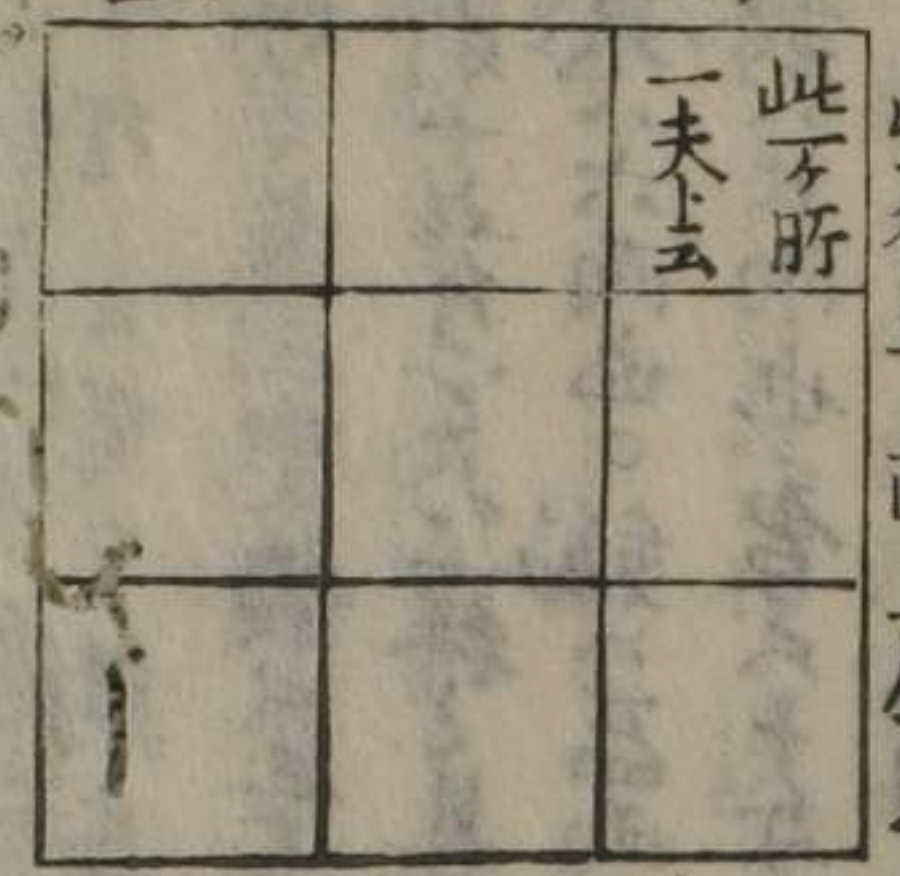
溝 小乘十穰位 大乗万穰位

澗 小乘十溝位 大乗万溝位

國之害也ト云ミ杜預カ注ニ方丈ヲ曰堵三堵ヲ曰雉一雉之牆長三丈高五丈ト云
且亦禁中百官之座ヲ百堆ト云此故也

產數之步之變異國ニ方丈尺ヲ步ト横一間直二百四十間ヲ一畝ト云潤一丈長六十
丈ニ當ル也。六十步ヲ一角ト云然則一畝ハ四角ニ當ル也。百畝ヲ一頃ト云。又方六尺ヲ三
為步說モ有之也。字彙畝文字ノ注曰六尺為步步百ヲ為畝ト云。又秦孝公
制二百四十步為畝ト云是六尺ヲ一步ト横一步直二百四十步ヲ以テ可為
積又古六尺ヲ為步三百步ヲ為一里ト云此時ハ六十間ヲ一町ト云五町一里ト見
但五尺ヲ為步ト則六尺ハ三百步ハ三百六十步ニ當ル也此時六町一里也且三百步
六尺乘以五尺除而可知也。井田之方八五町一里ノ四方ニテ三百間ヲ三ノ九百
畝ト見但五尺ニ步ニメ方六町ヲ六ノ六十呼テ三十六町ヲモ一里ト云也此時ハ三百六
十間四方ト可知。字彙ニ方一里ノ計十二方九千六百步ト云ハ此三百六十步ノ說
也。四井ヲ為邑四邑ヲ為丘但十六井也四丘ヲ為甸但六十井也公役也馬四疋
兵車一乘牛二頭甲士三人註卒七十二人干戈備具是謂ニ為乘馬也
○馬融曰古注司馬法ニ六尺為步步百ヲ為畝畝百為夫夫三ヲ為屋
屋三ヲ為井井十ヲ為通通十ヲ為城出革車一乘ヲ云

井田圖



此一行三ノ所ヲ屋ト云

惣九ノ所ヲ都而井ト云

量教ノ事異國之書ニ高ク有之也

斛 百ハ石今ハ五斗

金 六斗四升。斛 二釜半

庚 二百六十。東 十古斛

數量

石	十斗	斗	十升	外	十合	合	十勺
勺	十抄	抄	十撮	撮	十圭	圭	十粟
粟	和キ之起	石	石	石	石	石	石

包氏曰千乘之國者百里國也古者井田方里ノ井井
十ノ乘百里ノ國通千乘也先王制法也云々此後ハ
見テ則ハ城ハ可ク十乘歟。一夫ハ百畝又一頃ハ百畝也
然レ夫ハ方六人トハ方百トハ畝百畝也云々頃ハ
方九人トハ方二百四十畝トハ畝百畝也云々此後ハ
程伊川曰古者百畝ハ正當今ノ一甲畝今ノ百畝ハ當
古ノ二百五十畝ト云々不然者異國中時代依テ相違
有之ト云々了り

衡數之事異國書云
希り銀り十希と一糸
ト云一珠十糸也。分
ハ六珠也。一兩四分也
一斤ハ十六兩也。一秤ハ
十五斤也。一約ハ十斤也
一碩ハ四約也。是則百
二十斤也。又秤之事
原ハ十五斤今ハ二十斤
二十斤とも有。約ハ
二秤と有三重韻ハ十斤佳
然則十五斤とハ一秤と見たり
○錢ハ六兩也。鎰ハ五兩也
○銖ハ六兩也。唐ハ十斤と一
兩と云。百六十目ハ十六兩ハ斤之

衡數

諸數

諸數之中之正と云。東風俗
通曰馬目夜ハ布之編ハ長サ
短長と見たり云々
渚輕重ハ異流多シ故
其品多シ凡准也
○今于四方六面
百七十五目
百六十目

斤 四十兩之伍
唐目百六十目
和目二百五十目

分 四希之伍
唐目五目
和目五目

銖 四希之伍
唐目二分
和目一分

兩 四分之伍
唐目四分
和目二分

黍 唐目五分
和目七分

貫 法十百文之伍也
上下大較基較也

間 或六寸 或六分
或六寸 下及較也

端 或六寸 或六分 或二分
或六寸 或六分 或二分

本 竹木類
上較之

把 束と
尺五方

個 荷物
紙板類
綴横有也

卷 書類
佛經

冊 上月

和利 金銀米淺行是

斤分法較多しと云。和利金銀米淺行是

金 百四十六目 銀 百十七目

鈇 八十目 銅 六十二目

鉄 六十目 銑 五十目

錫 六十目 唐金 六十目

真鍮 五十目 青石 二十目

檜 二十目 栗 二十目

栗石 一四方 土 一四方

砂 日 七五目 水 日 七五目

米 今升 二百目

奇 今升 二百目

六の引除算の如くは七を加ふと
 七の引除算の如くは八を加ふと
 八の引除算の如くは九を加ふと
 九の引除算の如くは十を加ふと
 十の引除算の如くは十一を加ふと
 十一の引除算の如くは十二を加ふと
 十二の引除算の如くは十三を加ふと
 十三の引除算の如くは十四を加ふと
 十四の引除算の如くは十五を加ふと
 十五の引除算の如くは十六を加ふと
 十六の引除算の如くは十七を加ふと
 十七の引除算の如くは十八を加ふと
 十八の引除算の如くは十九を加ふと
 十九の引除算の如くは二十を加ふと

二歸	七送ノ七	八送ノ八	九送ノ九
	二一加四	二送ノ一	四送ノ二
	六送ノ三	八送ノ四	
三歸	三一加二	三二加四二	三送ノ一
	六送ノ二	九送ノ三	
四歸	四一加一	四二加三	四三加二
	四送ノ一	八送ノ二	
五歸	五一加一	五二加二	五三加二
	五四加四	五送ノ一	
六歸	六一加五	六二加三	六三加二
	六四加四	六五加三	六送ノ一
七歸	七一加三	七二加六	七三加二

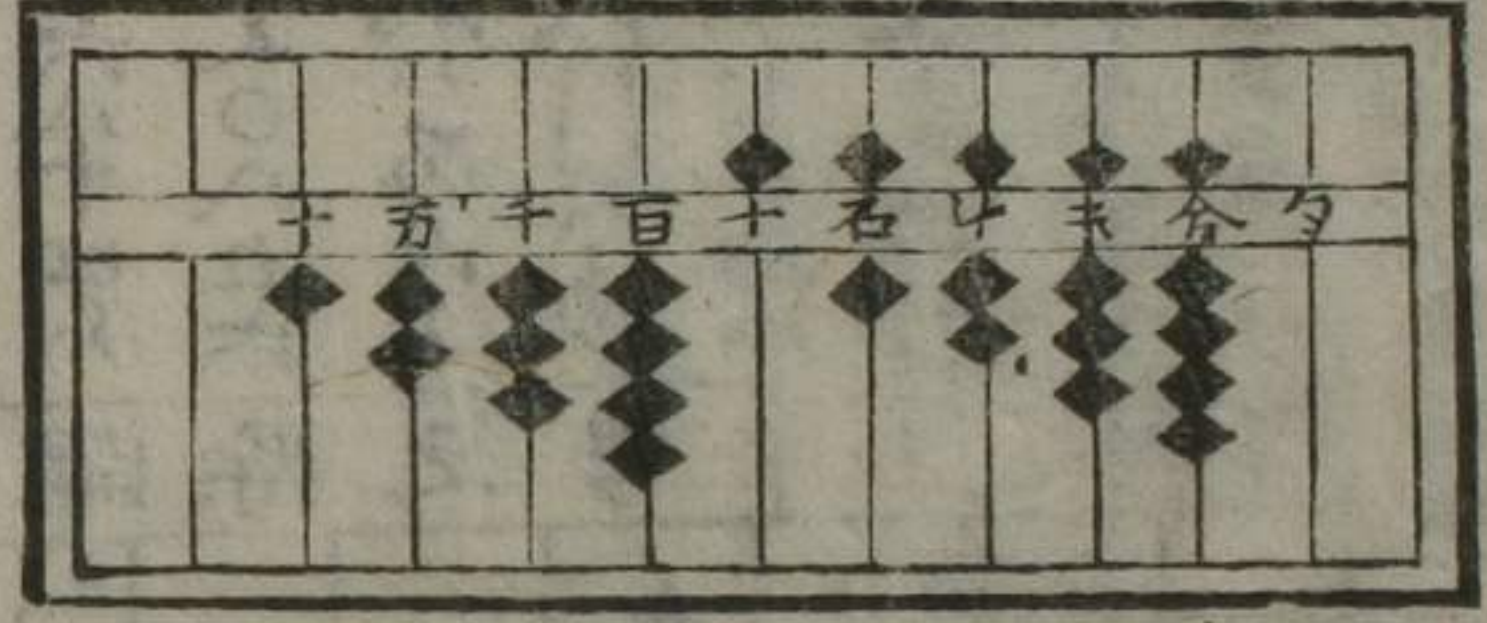
二の引除算の如くは三を加ふと
 三の引除算の如くは四を加ふと
 四の引除算の如くは五を加ふと
 五の引除算の如くは六を加ふと
 六の引除算の如くは七を加ふと
 七の引除算の如くは八を加ふと
 八の引除算の如くは九を加ふと
 九の引除算の如くは十を加ふと
 十の引除算の如くは十一を加ふと
 十一の引除算の如くは十二を加ふと
 十二の引除算の如くは十三を加ふと
 十三の引除算の如くは十四を加ふと
 十四の引除算の如くは十五を加ふと
 十五の引除算の如くは十六を加ふと
 十六の引除算の如くは十七を加ふと
 十七の引除算の如くは十八を加ふと
 十八の引除算の如くは十九を加ふと
 十九の引除算の如くは二十を加ふと

九歸	九一加下二	九二加下三	九三加下三
	九四加下四	九五加下五	九六加下六
	九七加下七	九八加下八	九送ノ一
八歸	八一加下二	八二加下四	八三加下六
	八四加一	八五加下五	八六加下四
	八七加下六	八送ノ一	
七歸	七一加下三	七二加下六	七三加下四
	七四加下五	七五加下二	七六加下四
	七送ノ一		

右九の引除算の如くは十を加ふと
 十の引除算の如くは十一を加ふと
 十一の引除算の如くは十二を加ふと
 十二の引除算の如くは十三を加ふと
 十三の引除算の如くは十四を加ふと
 十四の引除算の如くは十五を加ふと
 十五の引除算の如くは十六を加ふと
 十六の引除算の如くは十七を加ふと
 十七の引除算の如くは十八を加ふと
 十八の引除算の如くは十九を加ふと
 十九の引除算の如くは二十を加ふと

九内除るるを
 算の号ち記す
 始りとしは終り
 のを算と今
 算を初と
 九進九
 八進八
 七進七
 六進六
 五進五
 四進四
 三進三
 二進二
 一進一

初學習九歸除之圖



九送九
 八送八
 七送七
 六送六
 五送五
 四送四
 三送三
 二送二
 一送一

十分一
 百分一
 千分一
 万分一

と位中に見る也

總合系拾二万二千四百六十七斗八升九合

十人刻一人お
 百人刻一人お
 千人刻一人お
 万人刻一人お

十人刻
 百人刻
 千人刻
 万人刻
 十二石五斗六升七合八勺九圭

是の末点と
 八分五と

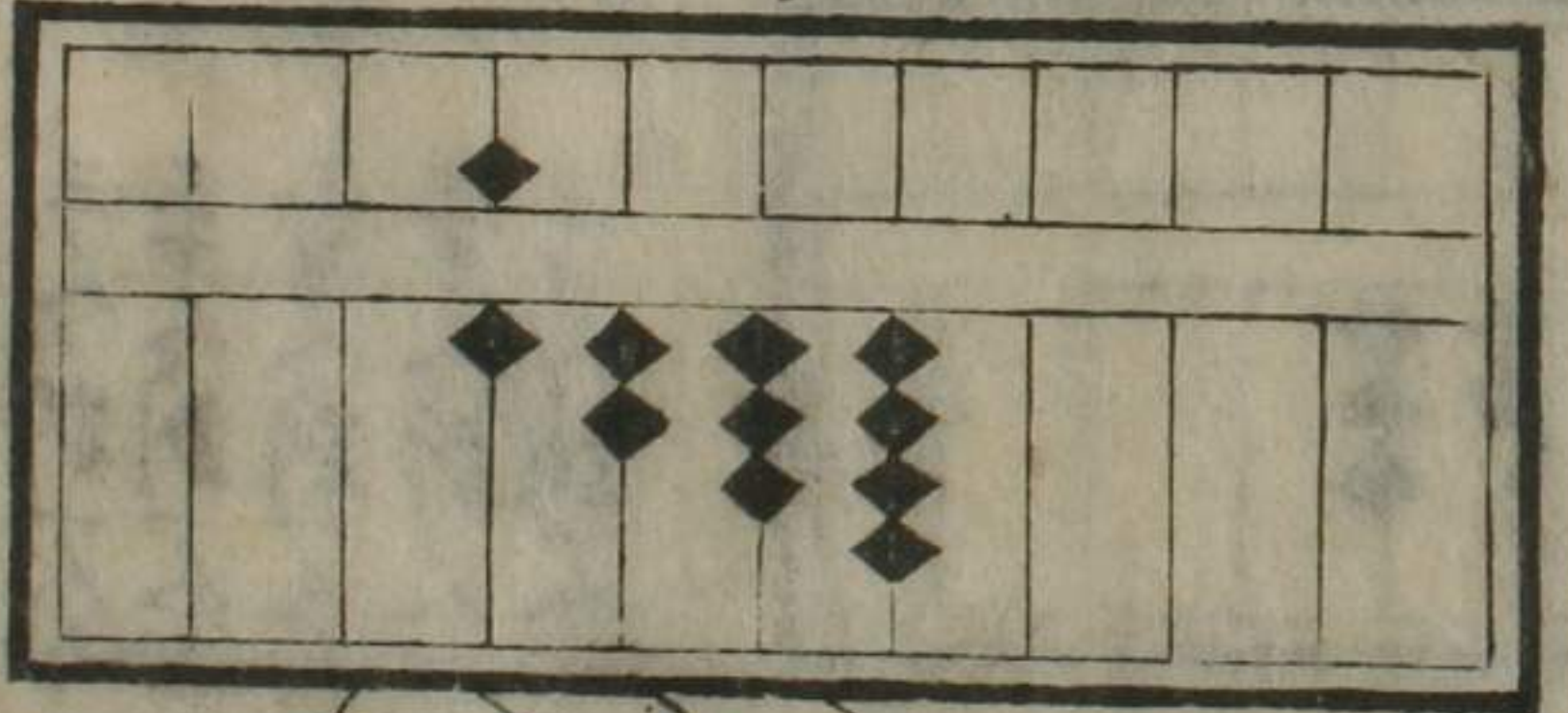
二之版

八進四十
 六進三十
 四進二十
 二進十
 二天作五

總合系拾二万四千六百八拾石



刻
 八送ノハとて八と
 引ノハ上ハと
 六送ノ三とて六と
 引ノハ上ハと
 四送ノ二とて四と
 引ノハ上ハと
 二送ノ一とて二と
 引ノハ上ハと
 二加ハとて二と
 引ノハ上ハと



掛
 二ハノ八とて八と
 引ノハ上ハと
 二二ノ六とて二と
 引ノハ上ハと
 二二ノ六とて二と
 引ノハ上ハと
 二六ノ十二とて六と
 引ノハ上ハと

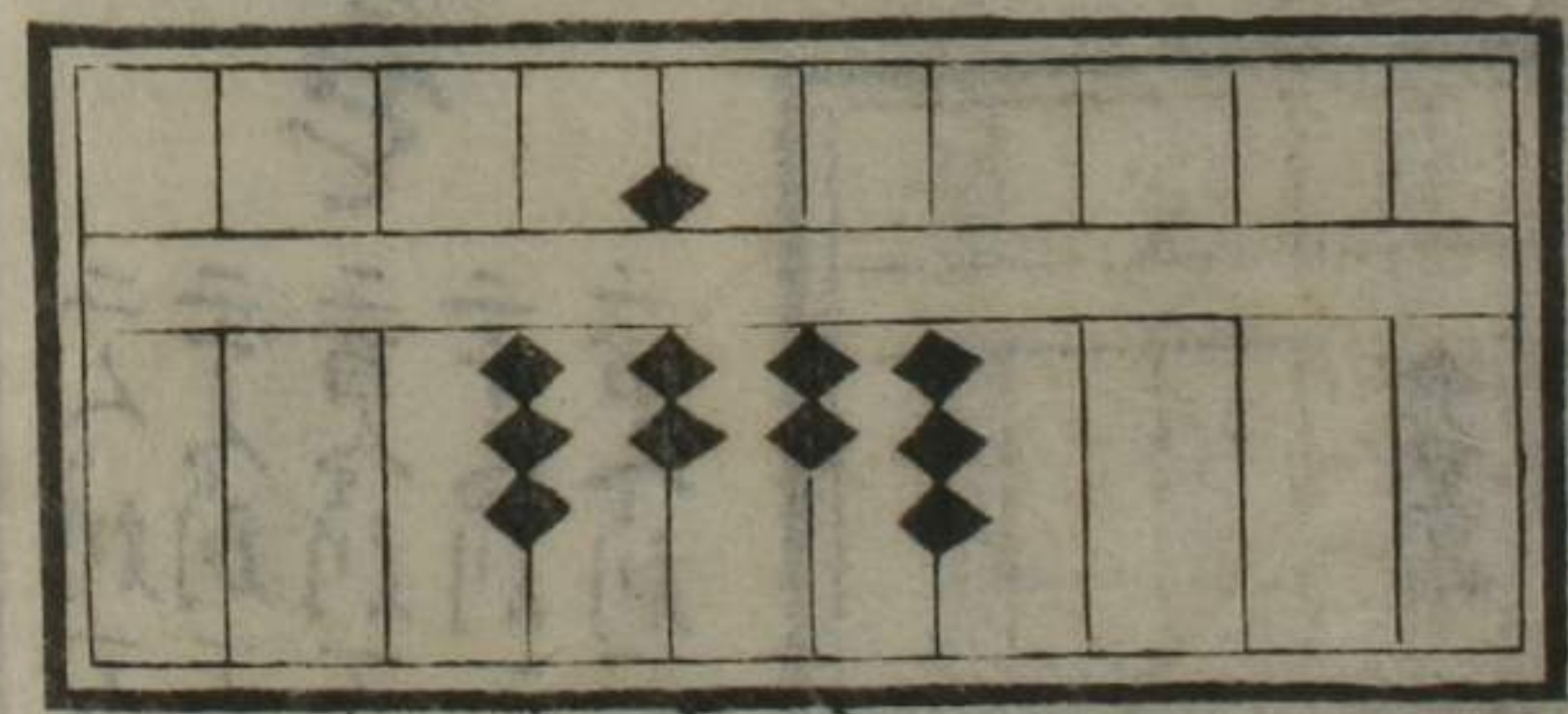
二人刻一人お
 二十人刻一人お
 二百人刻一人お
 二千人刻一人お
 二万人刻一人お

三之版

九進三十
六進二十
三進一十
三二六十二
三一三十一



刻しめ
九送ノ二とて九ツ
引ノ上、三上
六送ノ二とて六ツ
引ノ上、二上
三送ノ一とて三ツ
引ノ上、一上
三二加四ニとて三
三二加四ニとて三
三二加四ニとて三
三二加四ニとて三
三二加四ニとて三
三二加四ニとて三



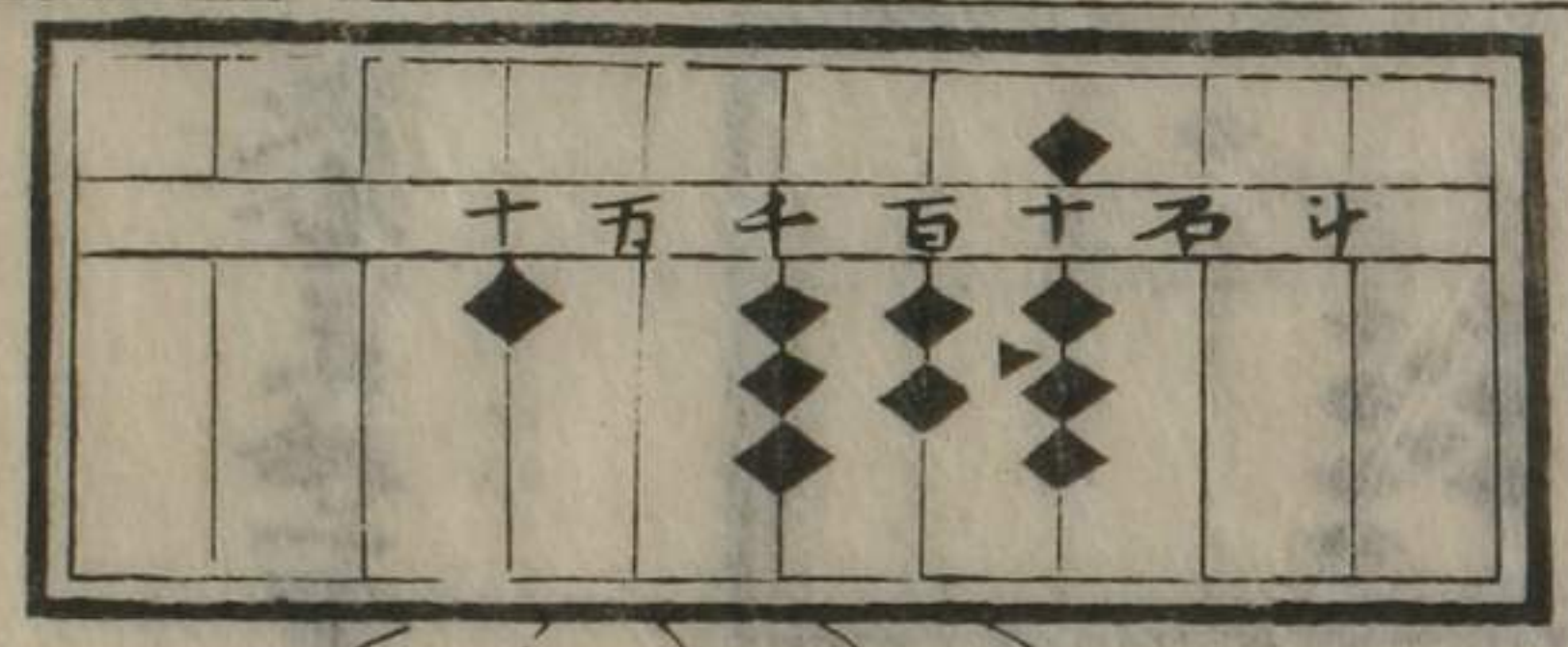
掛しめ
三三ノ九とて
三三ノ九とて
三三ノ九とて
三三ノ九とて
三三ノ九とて
三三ノ九とて
三三ノ九とて
三三ノ九とて
三三ノ九とて
三三ノ九とて

縦令承拾二万千六百九拾石と

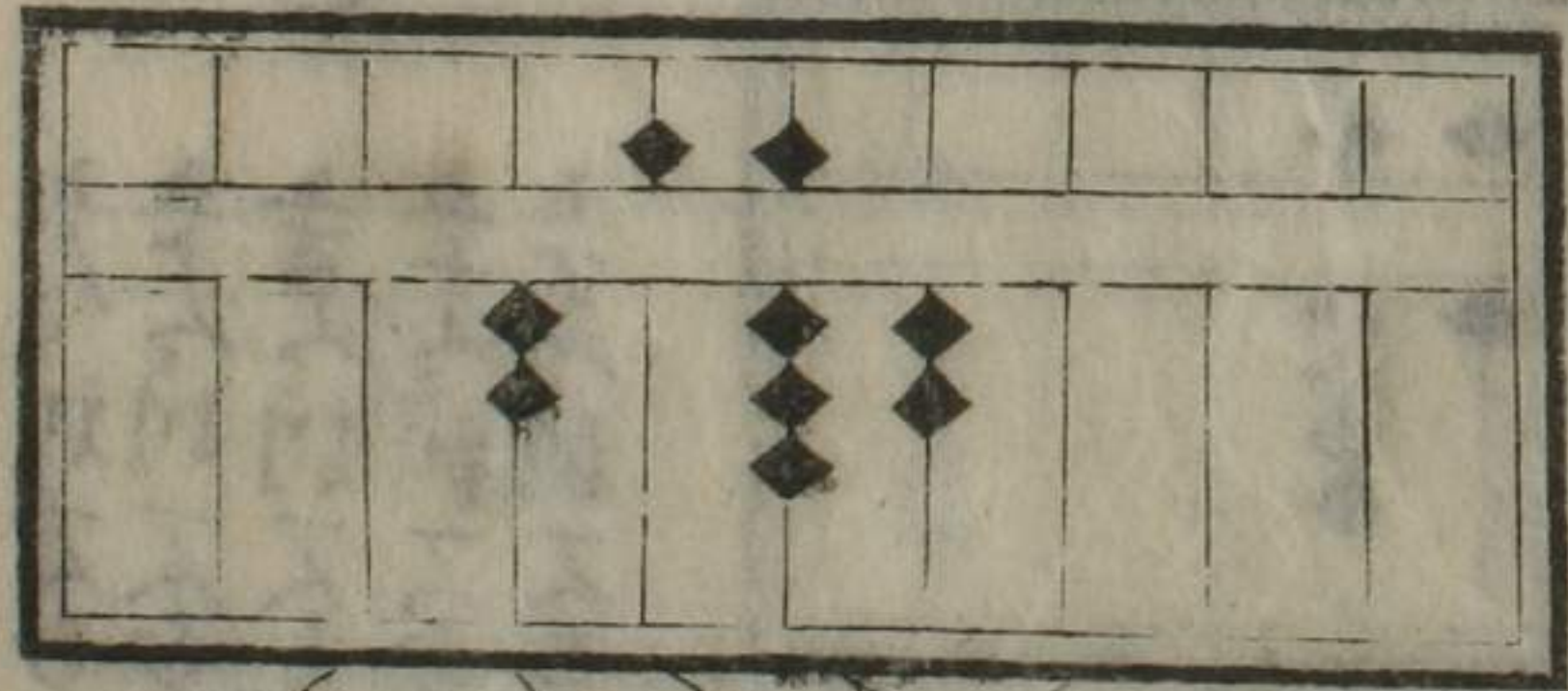
三ノ刻一人が三万七千二百三十石
三ノ刻一人が三万七千二百三十石
三ノ刻一人が三万七千二百三十石
三ノ刻一人が三万七千二百三十石
三ノ刻一人が三万七千二百三十石
三ノ刻一人が三万七千二百三十石
三ノ刻一人が三万七千二百三十石
三ノ刻一人が三万七千二百三十石
三ノ刻一人が三万七千二百三十石
三ノ刻一人が三万七千二百三十石

四之版

八進二十
四進一十
四三七十二
四二天作五
四一二十二



刻しめ
八送ノ二とて八ツ
引ノ上、二上
四送ノ二とて四ツ
引ノ上、二上
四送ノ二とて四ツ
引ノ上、二上
四送ノ二とて四ツ
引ノ上、二上
四送ノ二とて四ツ
引ノ上、二上
四送ノ二とて四ツ
引ノ上、二上



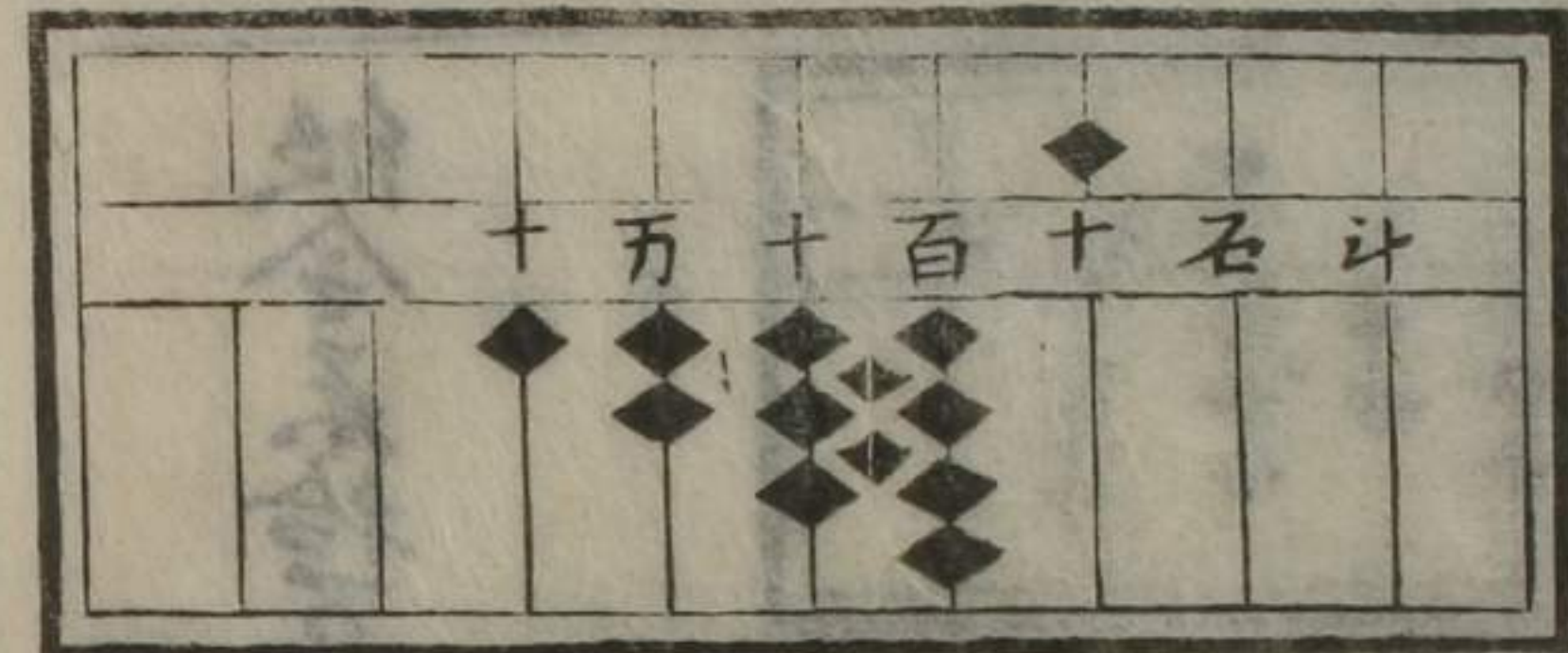
掛しめ
二八ノ八とて二
八ノ八とて八
二八ノ八とて二
八ノ八とて八
二八ノ八とて二
八ノ八とて八
二八ノ八とて二
八ノ八とて八
二八ノ八とて二
八ノ八とて八

縦令承拾万〇三千二百拾石と

四ノ刻一人が二万五千八百二十石
四ノ刻一人が二万五千八百二十石
四ノ刻一人が二万五千八百二十石
四ノ刻一人が二万五千八百二十石
四ノ刻一人が二万五千八百二十石
四ノ刻一人が二万五千八百二十石
四ノ刻一人が二万五千八百二十石
四ノ刻一人が二万五千八百二十石
四ノ刻一人が二万五千八百二十石
四ノ刻一人が二万五千八百二十石

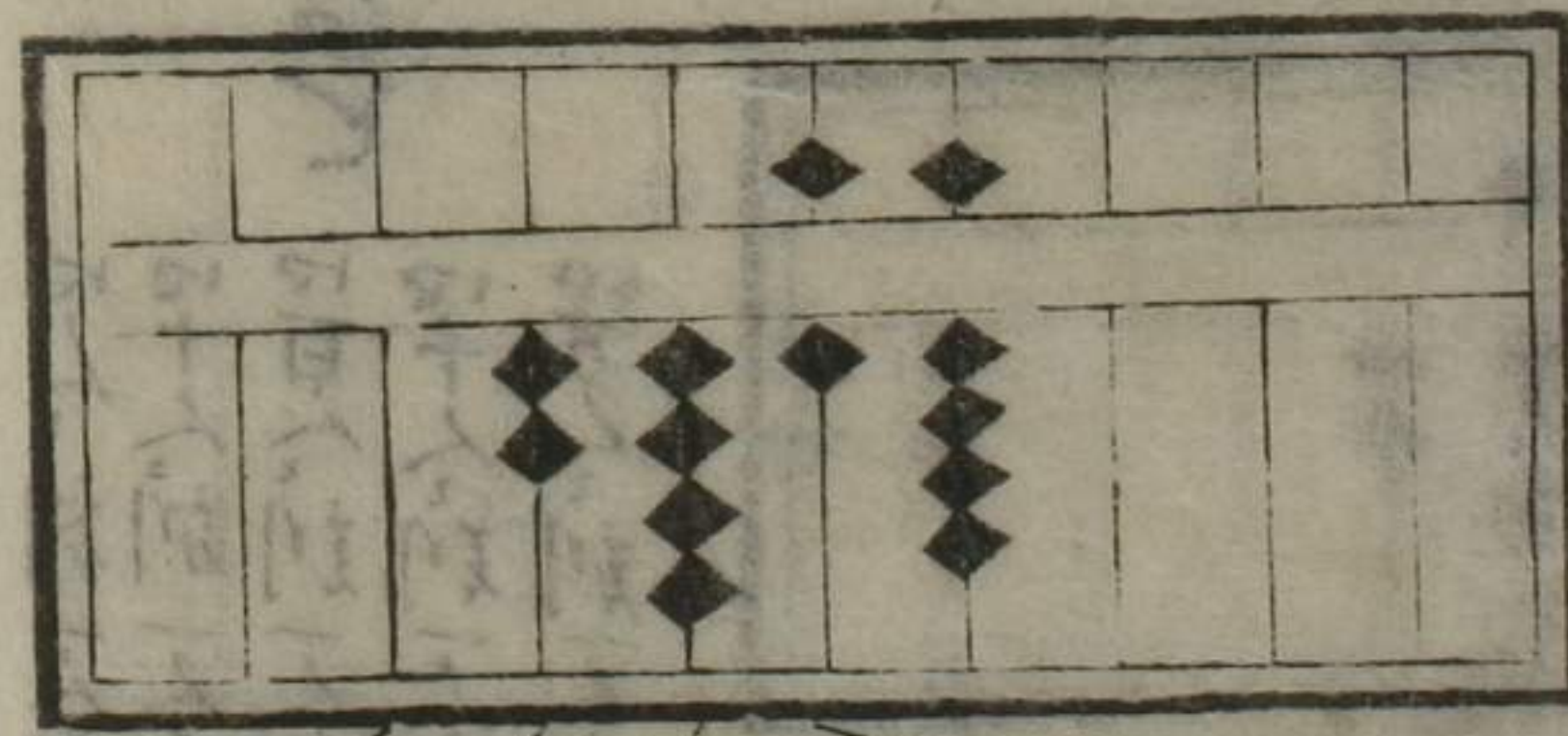
五之帳

五進一十
五四倍双八
五三倍双六
五二倍双四
五一倍双二



刻り
五進一とて五并
よ、よりのよ
五加下とて五倍加
五三加下とて五倍加
五二加下とて五倍加
五一加下とて五倍加

縦令系拾二万二千四百拾石と



掛り
五九百四十とて
五八百四十とて
五七百四十とて
五六百四十とて
五五百四十とて
五四百四十とて
五三百四十とて
五二百四十とて
五百四十とて

五人刻一人は二万四千六百九十
五千人刻一人は二千四百六十九石
五百人刻一人は二百零六石九斗
五十人刻一人は二十石零九斗
五人刻一人は二石零六斗九合

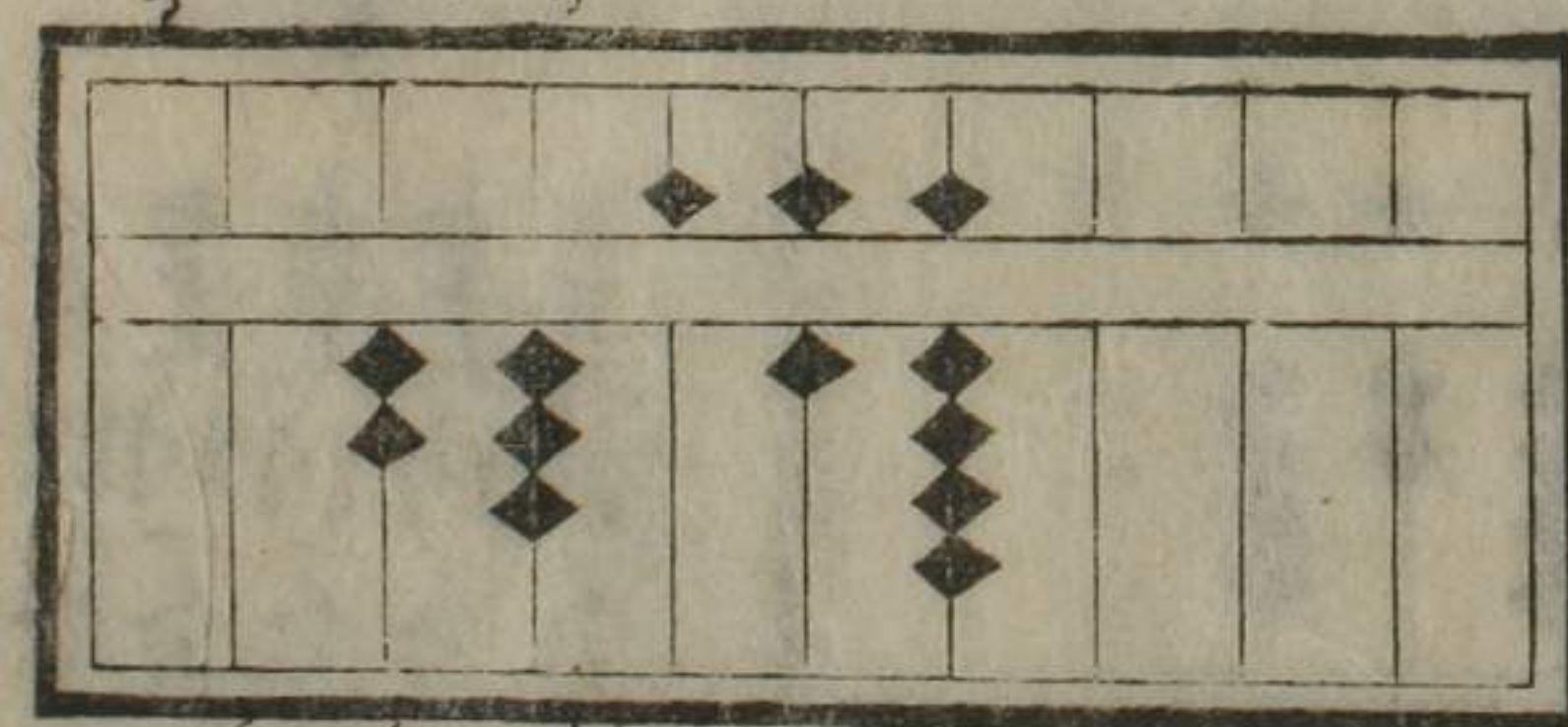
六之帳

六進一十
六五八十二
六四六十四
六三五九五
六二三十二
六進一十
六一加下四



刻り
六進一とて六并
よ、よりのよ
六五加下とて六倍加
六四加下とて六倍加
六三加下とて六倍加
六二加下とて六倍加
六一加下とて六倍加

縦令系拾二万二千四百拾石と



掛り
六九百四十とて
六八百四十とて
六七百四十とて
五六百四十とて
五百四十とて
四百四十とて
三百四十とて
二百四十とて
百四十とて

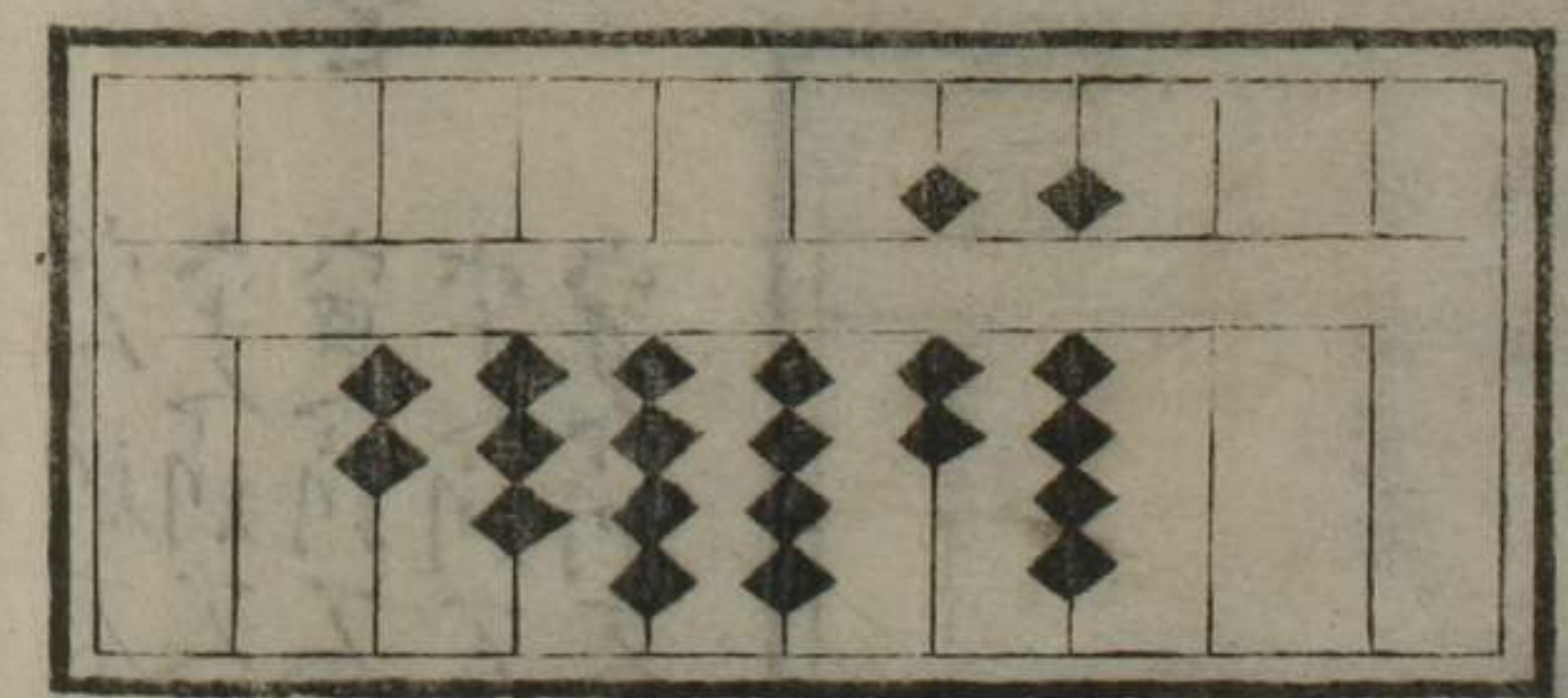
六人刻一人は二万五千六百九十石
六千人刻一人は二千五百六十九石
六百人刻一人は二百零六石九斗
六十人刻一人は二十石零九斗
六人刻一人は二石零六斗九合

七之帳

七進一十
 七六八十四
 七五七十一
 七四五十九
 七三四十二
 七進一十
 七二加下六
 七進一十
 七一加下三



七送二とて七上拂
 七六加二とて七上拂
 七五加二とて七上拂
 七四加二とて七上拂
 七三加二とて七上拂
 七二加二とて七上拂
 七一加二とて七上拂



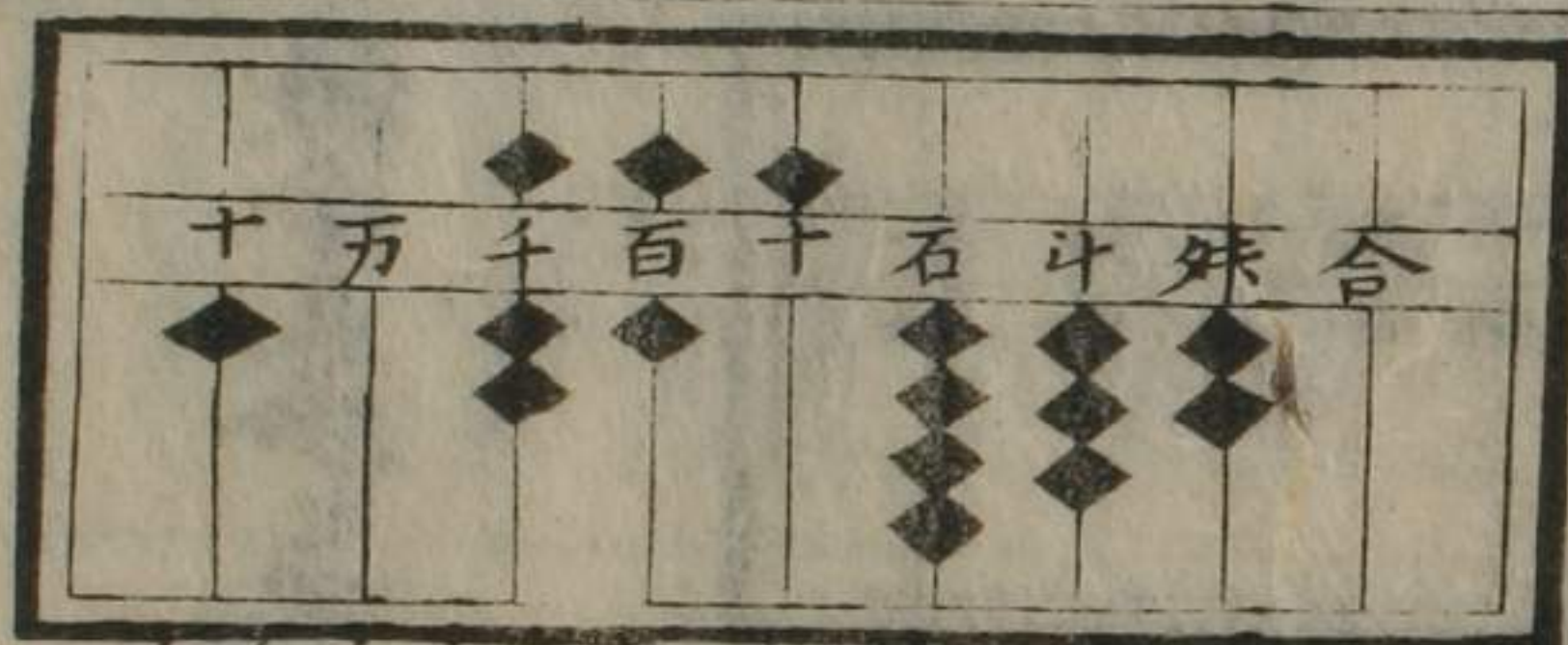
七九六とて七上拂
 七八五とて七上拂
 七七四とて七上拂
 七六三とて七上拂
 七五二とて七上拂
 七四一とて七上拂
 七三〇とて七上拂

縦令承拾万の七之首拾石を承拾

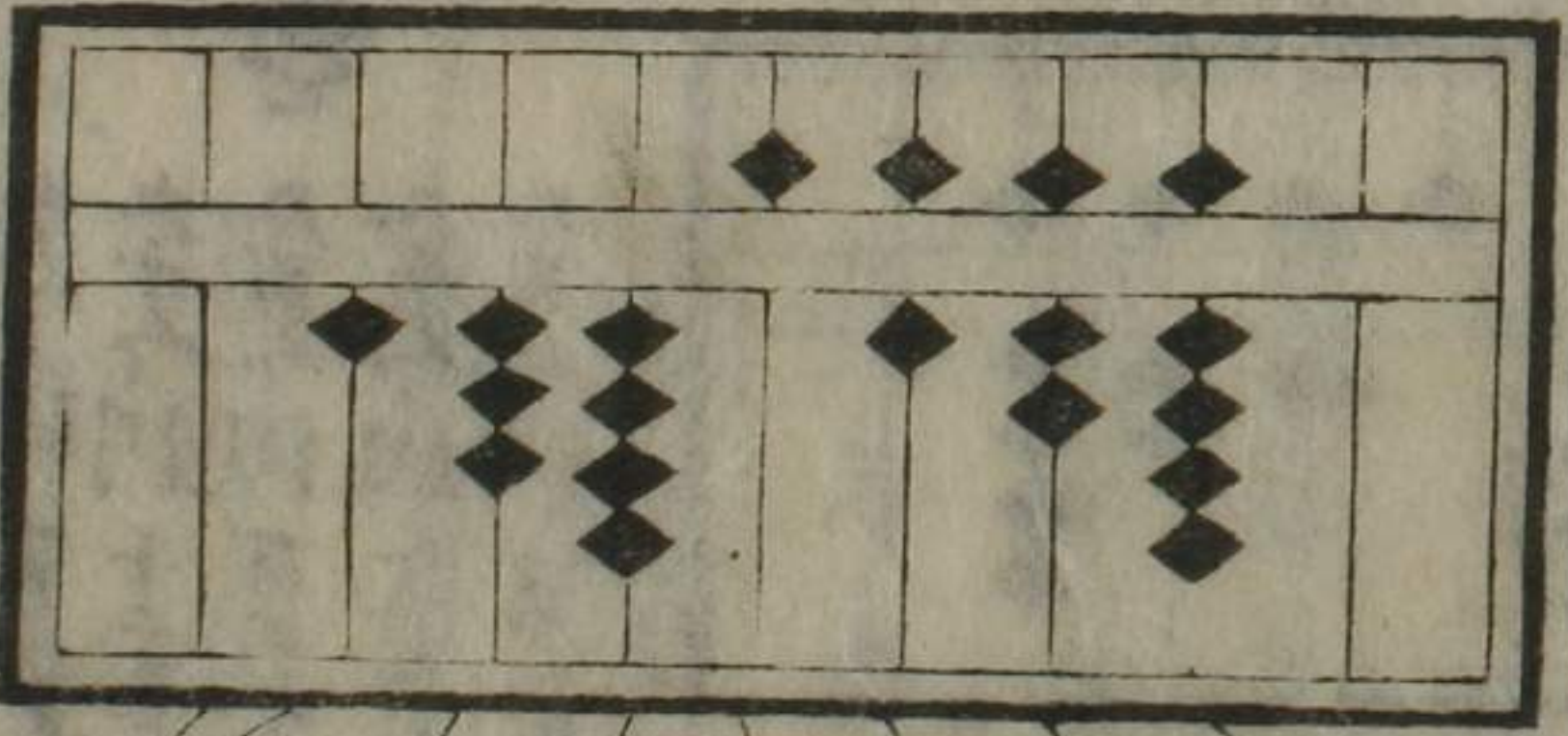
七人別一人お二万二箇百七十九
 七人別一人お二万二箇百七十九
 七人別一人お二万二箇百七十九
 七人別一人お二万二箇百七十九
 七人別一人お二万二箇百七十九
 七人別一人お二万二箇百七十九
 七人別一人お二万二箇百七十九

八之帳

八進一十
 八七八十六
 八六七十四
 八五六十二
 八四五〇
 八進一十
 八三加下六
 八進一十
 八二加下四
 八一加下二



八送二とて八上拂
 八七加二とて八上拂
 八六加二とて八上拂
 八五加二とて八上拂
 八四加二とて八上拂
 八三加二とて八上拂
 八二加二とて八上拂
 八一加二とて八上拂



八九七十二とて八上拂
 八八十一とて八上拂
 八七〇とて八上拂
 八五九とて八上拂
 八四八とて八上拂
 八三七とて八上拂
 八二六とて八上拂
 八一五とて八上拂

縦令承拾万の七之首拾石を承拾

八人別一人お二万二箇百七十九
 八人別一人お二万二箇百七十九
 八人別一人お二万二箇百七十九
 八人別一人お二万二箇百七十九
 八人別一人お二万二箇百七十九
 八人別一人お二万二箇百七十九
 八人別一人お二万二箇百七十九

三初目と引とを以九指八女七下と高下下と式女下有以式女と一送の二ととてと一式女とけと式女二重となくと二二二
甲くまて甲下引又二二二とてまか引掛と六一人あ九指八女七下
式りとも引と也見たり足九と日と成れ引と略ん

高実法と奉養本
盤七日之り用
平之入廉隅と之
二系二系ホと廉
下廉と隅下隅と其
示すりて之りなり
名之析法実高
平盤とて用平と之
廉隅と之り之り有と
いとも右法とて之り遠と

兼盤の樹と名實能令八限と金較と引
時有限と右と並木の樹と定と云人較と
左と並木の目無樹と法と云は目安と
右と引と之り較と高と云は形り然る
賣買普法檢地其か引換養りて至
と一引名付て高實法と云也

因宗得商ハ掛て
高法知并也且又
掛て引子并引と
有柳較多んと程
高少と也也

因宗得高

二引と五と掛
五引と二と掛
十二引と八と掛
二十引と四と掛
六百引と十と掛
此介極有と之り引
是ハ一とと引と引と其
商高掛目毎なり

米百五拾俵有二斗六升入メ惣石較と同
答云 五拾石六斗
間百五拾間有六尺守間メ惣石較と同
答云 九拾七丈六尺
高百五拾石有六尺分或メ惣石較と同
答云 八拾石六斗
金百五拾両有六拾六分或メ惣石較と同
答云 九貫九百目
布百五拾端有一端有七女六下元代と同
答云 五貫百五女
金百五拾両有六斗六升或メ惣石較と同

由除得商と俗に相場別
と云はれ下むる付しと
まゝに記せり

浪九貫九百目と云はれ
メ全何れに向

答云 百七十五と云はれ浪十
法云 浪九貫九百目と
み積八貫と別百七十五

除
。五八九六五五と云はれ
の六し中と云はれ分五と

商
引積一八九六五五と云はれ
と云はれ上と云はれ下と云はれ

。又云
通百七十五と別浪十と云はれ
十自と云はれ相目と云はれ

。又云
二別百七十五と云はれ

。又云
浪と云はれ百七十五と云はれ

。又云
浪と云はれ百七十五と云はれ

。又云
浪と云はれ百七十五と云はれ

。又云
浪と云はれ百七十五と云はれ

。又云
浪と云はれ百七十五と云はれ

。又云
浪と云はれ百七十五と云はれ

。又云
浪と云はれ百七十五と云はれ

因 乗

答云 式百拾石

法云 百石と云はれ重と云はれ
無と云はれくの負教と云はれ

米五拾石と云はれ二斗と云はれ

答云 百六拾俵

大教九拾七丈と云はれ六尺と云はれ

答云 百六拾間

相成八拾石と云はれ二斗と云はれ

答云 百拾石

浪九貫九百目と云はれ六拾と云はれ

答云 百八拾俵

浪と云はれ百七拾五と云はれ

答云 百五拾俵

米式百石と云はれ有と云はれ

答云 百五拾俵

法云 と云はれくの教と云はれ

別と云はれくの負教と云はれ

六尺と云はれ間の教と云はれ

答云 百六拾石

二斗と云はれ俵と云はれ有と云はれ

答云 百七拾石

米五拾石と云はれ二斗と云はれ

箱の方守り合十六歩
とて刻なり

又中後亦有時たごを
右し屏風とす又後
の長三尺八寸横を八寸
有は押取し箱と重不
ト若し箱板と同

法云後の長と横とを
合五百二十歩あり敷もど
ありぬき敷のあり八
十あり箱のあり二百
八歩あり敷と敷千六百
拾八ありり是と箱と敷
あり十六あり刻なり

繩地よりを考ふ
二尺ありと十把あり
四人繩とて六把あり
なる方ありなりと

入て尺分とす
坪並し扱本刻よりた
とふ末口八寸半口を
尺或すも三間し丸を
八拾六歩あり代り守角

三寸或分よりやも余の切れく尺一也
又多くけしと也刻活何分何望く尺
一時的なれ箱の方三寸やととけし
此のくくもき也

五人繩と敷百歩ありとの代り
ありとありと何なり

法云二百四拾六米九分と重
法云五人繩合尺あり敷もど敷も
敷百米と敷五千あり敷もど敷も
左と四人守り合敷拾歩〇或分
と敷もど右と千あり刻なり

五寸角長式間本式百歩代り守角と二
尺半本何なりとて同

法云 式百五拾歩

法云守り合敷拾六あり敷もど二あり
けり五千坪敷もど式百歩と敷一
坪敷もど敷もど右と左と守り合
拾六あり敷もど長式間半ありけり
坪敷もど敷もど右刻なり

但し坪活し坪八寸守り六寸坪
尺半と守り四寸六分ありの坪と
と六あり坪成れりはは拾六あり

武間本依丸... 言ふ四首。武奉丸を...

法云本未... け合七九... 七五... 七八五...

法云今... 何年... 五寸角... 六寸角... 六寸... 十寸...

言ふ... 五尺... 五尺... 五尺... 五尺... 五尺...

言云... 五尺... 武拾八石

今井... 武拾八石

法云五尺... 七尺... 七尺... 七尺... 七尺... 七尺... 七尺... 七尺... 七尺... 七尺...

合ふ事とすけ○十八の成
 穿し丁八穿を合一倍のメ
 半穿とすけ○十二穿八分
 と成る人二寸二八寸とすけ
 二十穿と成○二十八分
 と成六寸丁八六寸とすけ
 合を倍十して七十穿と
 うけ七尺八寸とすけて
 是より二尺二寸○二十寸
 ○二寸四厘と成各二角と
 六尺合して九十九穿とすけ
 穿と成と成各一尺と成
 三穿と成と成各二寸一
 一三七穿と成はぬとすけ
 しぬと成と成各十寸と成

幾 衰 法

是ハ大ニ也知ルニ固ニ法ニ
 何モ七坪と見て板外ノ法ニ
 但坪法ノ術ニモモ有ルナリ
 是才人ノ年数合百拾六
 次男ノ七ノ妻ノ次男ノ三男ノ六
 三男ノ四男ノ四男ノ妻ノ四男ノ妻
 妻也落ノ年数同
 妻 三拾五歳 次男 二拾八歳
 妻 二男 二拾二歳 四男 拾八歳
 未子 拾三歳
 法ニ妻ノ七と成各一尺と成七ノ三男

桶ノ入目と成る人分
 今井何れて入と成る
 三尺と再自圓九九と
 二寸と成と成て成七
 斗と成是より一割と二斗
 七斗加て二尺九斗七斗と
 成はぬ人ノ桶と成斗と成
 入と成る也と成人成と成
 少お送るも委細考
 付ハ人ノ桶と成斗九合
 四寸四寸八寸と成人
 底九寸深も人三寸他口
 二人付ハ底も人八寸深
 二人も成と成各人分

の妻ノ六つと成て十二と成是と成加
 二拾と成人成十三と成男ノ妻ノ四加
 拾七と成是と成加二十七と成人成
 十七と成男ノ妻ノ四と成二と成是と
 成加五拾九と成是と成年数加百七
 拾五と成是人成と成割ハ是ノ年
 数と成次六妻は列て知也
 板外法ニモモ有ルニ固ニ法ニ
 加て是法又成年数加人成と成割ハ
 年数と成各と成して日本ニ成板
 成年数と成各と成人成と成割ハ

何れ何れ同

一番 八五下

二番 八五

三番 七五下

四番 七五下

五番 七五下

六番 七五下

七番 七五下

八番 七五下

目安一と合はれて五と六
あはれゆをせてすなり
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八

目安一と合はれて五と六
あはれゆをせてすなり
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八

目安一と合はれて五と六
あはれゆをせてすなり
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八

目安一と合はれて五と六
あはれゆをせてすなり
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八
七と八と合はれて七と八

加ら拾取女七下を全
とぬるは刻目安六三
と刻ハそぬく代根
ハ女下とわたり

ちく入子并ハ表裏増
減ハわたり

右日式ハ好くハ法室百
甲六女と女ハ刻後時

とぬるハ二取ハ式百目
裏二取ハ二取ハハ式

刻裏ハ二取ハハ式ハ
日之刻としりハ取ハ

ぬるハ法百の指目裏上
して右と同

右ハ一取ハ五取ハ五取ハ

二番 二取ハ二取ハ二取ハ

三番 三取ハ三取ハ三取ハ

四番 四取ハ四取ハ四取ハ

五番 五取ハ五取ハ五取ハ

法云ハ二取ハ二取ハ二取ハ

二番ハ二取ハ二取ハ二取ハ

刻ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ取ハ今ハ今ハ今ハ今ハ

法云ハ二取ハ二取ハ二取ハ

目安ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ合ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

二番 上 根ハ二取ハ二取ハ二取ハ
中日ハ二取ハ二取ハ二取ハ

下 日 六百七拾八女下二取ハ

法云ハ二取ハ二取ハ二取ハ

と六ハ二取ハ二取ハ二取ハ

と一六ハ二取ハ二取ハ二取ハ

取ハ中下二取ハ二取ハ二取ハ

と二取ハ二取ハ二取ハ

○二番ハ二取ハ二取ハ二取ハ

列ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

二取ハ二取ハ二取ハ

△二取ハ二取ハ二取ハ

列ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

二二二七五ハ二取ハ二取ハ二取ハ

右ハ二取ハ二取ハ二取ハ

是ハ二取ハ二取ハ二取ハ

見ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

ハ二取ハ二取ハ二取ハ

是より七とけ下し五倍
 又云く一組切よ中ト
 末て知く一と目安二十
 三六よりして五倍と別
 一と一組の五倍二費。○
 六と一組の五倍八とけ
 二と一組の五倍六と百
 ○四と八と一と目安七倍
 け三と一組の五倍五
 百二十と下と目安七
 倍加倍減しけいれよ
 末とすると酒造りよ
 は内と七倍と酒造りよ
 末と名付梳一と六と
 五と五倍と名付仕込ハ

法と一と名付と重たの一と二割五と
 是以て加一五と名付の五と二割
 別二五と名付と加一七五と名付
 の二五と二割二五と名付と加一
 加一八七五と名付と二割自と別一
 五と名付と名付の五と二割五と別
 てとれくの五と名付と二割五と
 全拾五と五分の米と名付一と六
 斗と名付一と二斗と名付一と石
 五斗と名付一と小豆は二と名付一と
 大豆は二倍大豆は小豆は二倍名付一と名付一と

又云く一組切よ中ト
 末て知く一と目安二十
 三六よりして五倍と別
 一と一組の五倍二費。○
 六と一組の五倍八とけ
 二と一組の五倍六と百
 ○四と八と一と目安七倍
 け三と一組の五倍五
 百二十と下と目安七
 倍加倍減しけいれよ
 末とすると酒造りよ
 は内と七倍と酒造りよ
 末と名付梳一と六と
 五と五倍と名付仕込ハ

米四斗八斗六斗四斗合二百八斗一斗
 代金二と名付と五倍と名付下と名付
 吾大豆九斗七斗四斗八斗合六斗二斗
 代金四と名付と五倍と名付下と名付
 小豆拾九斗四斗五斗合二百六斗四斗
 代金七と名付と五倍と名付下と名付
 法と全拾五と五分の米と名付一と六
 と名付一と二斗と名付一と石
 五斗と名付一と小豆は二と名付一と
 大豆は二倍大豆は小豆は二倍名付一と名付一と
 又云く一組切よ中ト
 末て知く一と目安二十
 三六よりして五倍と別
 一と一組の五倍二費。○
 六と一組の五倍八とけ
 二と一組の五倍六と百
 ○四と八と一と目安七倍
 け三と一組の五倍五
 百二十と下と目安七
 倍加倍減しけいれよ
 末とすると酒造りよ
 は内と七倍と酒造りよ
 末と名付梳一と六と
 五と五倍と名付仕込ハ

中八寸分中八寸下八寸分
 九寸分他處使へ来し
 上よりぬり付きて石久中八
 寸石斗六升之下八寸石
 六斗之大豆上八寸石
 寸石斗六升之中八寸石
 上八寸石斗六升之中八寸石
 六斗之大豆上八寸石
 寸石斗六升之中八寸石
 教と同

上 斗十二石
 代金廿五石
 中 十石
 代金八石五斗三升
 下 五石五斗
 代金三石五斗三升

分号

目安之五と二寸刻二寸安是二寸自
 安之四と四寸刻一寸安是小豆目安
 之三口目安合九七寸安是合全と刻
 米斗升教知くぬり先く二寸刻
 と九寸の升教知く全升と重た月
 ちく介安くし好くし一とちく意
 としめて助了月六知くぬり先く
 浪三百目と二人傷了時一人分二刻
 寸刻一人分四二刻刻一人分六刻
 寸刻の式三通と定之一人分三刻合浪
 分三九寸及何事も中浪何れ先傷る言

查

上 拾石石
 代金八石五斗三升
 中 五石五斗
 代金三石五斗三升
 下 二石七斗五升
 代金一石五斗二升

堂

上 五石五斗
 代金二石五斗
 中 二石七斗五升
 代金一石五斗二升
 下 一石七斗五升
 代金一石五斗二升

法と米のとる石と定は
 代金五石五斗中八斗と定は
 代金一石五斗八斗五升と定は
 代金一石五斗二石五斗合と定は
 五五六二五石目安く

言

分二目り
 下浪百〇七女分六石一系七忽
 内二目り
 中浪百〇七女分六石一系七忽
 分六目り
 上浪八拾石及或考六石九石六石六忽
 三人及と取麻本村合浪百廿女八分三石二四六
 法と一と重十二寸刻八寸安是外二刻
 目安之又一と重八寸刻は内二刻
 外六刻目安之三口合二二寸安是言
 二百目と刻はちく小分し中浪本村
 又下くは浪と九寸の目安と重た
 の本浪と知く

入夫とて、増敷一まこの
並成とて、色なり

世活と地四梳六とて、世帯
と仕込し、これに、たて六

今大豆、式拾五、を、これにて
塩糶、新、ま、お、佃、し、し、時

並成、大豆、二、一、斗、糶、を、二
斗、の、升、久、隆、の、二、斗、久

新、八百、六、拾、能、久、敷、上、仕、は、積
大豆、一、斗、糶、六、斗、一、塩、四、斗、新

八把、焼、メ、多、と、ア
善云

大豆、一、斗、糶、六、斗、一、塩、四、斗、新
糶、七、斗、二、斗、升、七、斗、五、五
○は、大豆、一、斗、糶、六、斗、一、塩、四、斗、新

始 終 位 定 襄

地、四、斗、八、斗、三、升、三、合、分、三、斗、六

○は、大豆、一、斗、糶、六、斗、一、塩、四、斗、新

新、九、拾、六、把、下、七、斗、六、毛、七

○は、大豆、一、斗、糶、六、斗、一、塩、四、斗、新

法、と、糶、六、斗、一、塩、四、斗、新

二、斗、の、升、新、四、斗、八、斗、の、又

塩、四、斗、の、並、成、三、斗、二、斗、の

新、を、斗、二、斗、の、合、又、新

八、把、の、並、成、百、六、十、把、新

五、斗、の、合、三、斗、合、て、これ、よ、え

大豆、一、斗、糶、六、斗、一、塩、四、斗、新

これ、の、仕、込、と、て、き、と、け

これ、の、升、糶、と、て、き

何合よあると見えぬとれくの如きと
はたふと方る何人合死と色りま
の目安と次二口合る坪と割六六
のり平均て何程と分分人一
れよとれくの目安とけまこの坪敷と
まよとやなり

右しかあて好有とてとてと意経
とてとて助て六知れとまよと略人

浪三貫自有と成三人とけし付と下
中何程成とと下てて入中より下とて
程下て下ととの中分れとたの右何程

上浪を中三百三拾と女下三斗三毛

善云 中口を貫目

下口六百六拾と女下六斗六毛

下の浪三百三拾と女下三斗三毛

法とて自安十と重下し自安八と分と

五と重板上下重合て十と分と二と割

七五と分と中の目安とて上上下下の

目安十五、加二十二五と分と二と目

と割の上と分と知ると

又下分と入る法は上の目安一と重下し

目安と二と重板上下合と分と二と

今もあつて得る是なり
味増と仕込るは他あつた
六拾目久大豆はきぬ舟で
二石の舟久増はきぬ舟で
今も分新はきぬ舟二百
把久増はきぬ舟今も分
仕込るは大豆はきぬ舟
増三斗新はきぬ舟
大豆二斗舟二石百二斗
代増二斗舟。九石
梳七斗二斗七合二百斗
言三 代増二斗舟下二石
増三斗舟二石合百二斗
代増二斗舟下二石
新四斗八把舟分八石
代増二斗舟下二石

刻一斗はきぬと中し目安とて上下
の目安三、如四斗はきぬを増と刻
又中へ久く入るは増と三刻と知
又さりの増より久く入るは九斗刻と
下りの増は久く知るとは五斗とけり
上の増は二斗とけて中の増は二斗
とけて下の増は久く知るとは九斗刻
事ハヤク〜二斗刻又二斗とけり
三斗の九斗はきぬ
銀百五拾五貫目有是と入るけり
きぬ人た〜の百目と〜の四斗の人を

法も今もあつて六拾目
大豆し仕込二石の舟と刻
二十四斗はきぬ大豆二斗
仕込るは大豆と分と分目
とて増三斗と舟十八斗
と分又まき分と舟とて
増三斗と舟十八斗と分
又まき分と舟と二斗は
刻百把舟七斗舟と分は
四拾把と舟二斗はきぬ
増五斗合四十九斗舟と分
是とて六拾目と刻は大豆
の舟と分と分と代増と知
久大豆二斗舟と舟増目
増三斗舟と舟と分

四拾目五拾目とて各何種を〜同
一 増五拾五貫二百五拾七斗分五斗三斗
二 四拾四貫二百八拾七斗分五斗
三 三拾三貫二百拾四斗分五斗
四 二拾二貫百拾二斗分五斗
法も百目と〜の内四拾目〜六拾
目有是と〜三人刻二〜は二と〜
六拾目下り〜は〜の内目安百目二番
八拾目〜内六拾目〜六拾目四番
六拾目〜内六拾目〜四拾目は四口合

名に何程元と台

兎小姓百十目
中小姓百二十目
奉行者百拾女
系道九十目
料理人七十目
日公志五十目

法云九拾目と六人五音四
十目と女と虫浪六百目
内川跡六十目と女と虫浪
ありと一中少姓と二少姓と
二と虫浪と女は内料理人
の分と二川日公の分二川跡
二有是と女と六十目と刻
女目下りと女と九十目と

加一とけてとと女又九十目
より法云は自元引下け
と下の女のと女と
七名の中有是は虫浪
すべしととと女と女と女
未二名と女と女八合入本の
二名と二名八合入中二名
入女と女と同

法云未と女八合と二名と
刻九合と女又二名八合と
二名と刻と女九合と女は
内が女と九合引跡と女
有是と女と女と刻と女
法云と女と女と二名八合と

中少目と女は町及び内中虫浪
入町未九拾女と目と二名と刻と女と目
と女は町未の中虫浪と女と女と
中少目と女は町及び内中虫浪
て刻と二名八合と女と女と二名八
系五忽と女は町及び内中虫浪
得ぬと女と刻と女は町及び内中虫浪
二間目と女は町及び内中虫浪
刻と女と女と刻と女と女と女と
町及び内中虫浪と女と女と女と
法云と女と女と刻と女と女と

の代浪と女

町及び町未と女は町及び内中虫浪
町及び町未と女は町及び内中虫浪
方と女と女と女と女と女と女と
下町未と女は町及び内中虫浪
賣家町及び町未と女は町及び内中虫浪
賣家町及び町未と女は町及び内中虫浪
町の好有と女は町及び内中虫浪
刻と女と女と女と女と女と女と
系合百七拾女と女は町及び内中虫浪
未系六拾女と女は町及び内中虫浪

念佛題目合千五百遍
以文字教一万。百五十字
多と問

善 題目千百五十遍
念佛三百五十遍

天台傍く経傍く律と定
て一字の字も細天古傍く
法心八種後々全剛六種
由傍合五千五百人細律
四万千五百種落く傍教問

善 天台四千二百五十人
禪 千二百五十人

法何道も右のり也
と来下来く重展一友のり
来式斗弁く居らと来

元く様と布し重展とるく

維子くうとらと合六拾正有以是教百
六拾正有右内維子危何法と台

善 維子宿宿之相 以是教九拾本
うとらと正 以是教六拾本

法心八種後々全剛六種
ハ代浪うとら此是四本ハ純の重展維
子の是式本ハ布し重展とるく

南水友材く細り合式千石此は物成り
九百八拾七石本之南ハ四り成心ハ五り分
法心八種後々全剛六種

善 南より七百五拾石は物成三百石
少より千二百拾石は物成六百七拾石

法心八種後々全剛六種
右ハ外心く好有とらと右く意法と
とらて法心ハ知と下ハ四者ハ考と

善 上米と代金格取取分
下米と代金格取取分

格六石六斗二升五合下米
二十七石二斗七升五合と代
金合三拾五五分重り
法心八種後々全剛六種
由傍合五千五百人細律
四万千五百種落く傍教問
天台四千二百五十人
禪 千二百五十人
法何道も右のり也
と来下来く重展一友のり
来式斗弁く居らと来
元く様と布し重展とるく
維子くうとらと合六拾正有以是教百
六拾正有右内維子危何法と台
善 維子宿宿之相 以是教九拾本
うとらと正 以是教六拾本
法心八種後々全剛六種
ハ代浪うとら此是四本ハ純の重展維
子の是式本ハ布し重展とるく
南水友材く細り合式千石此は物成り
九百八拾七石本之南ハ四り成心ハ五り分
法心八種後々全剛六種
善 南より七百五拾石は物成三百石
少より千二百拾石は物成六百七拾石
法心八種後々全剛六種
右ハ外心く好有とらと右く意法と
とらて法心ハ知と下ハ四者ハ考と
格六石六斗二升五合下米
二十七石二斗七升五合と代
金合三拾五五分重り
法心八種後々全剛六種
由傍合五千五百人細律
四万千五百種落く傍教問
天台四千二百五十人
禪 千二百五十人
法何道も右のり也
と来下来く重展一友のり
来式斗弁く居らと来
元く様と布し重展とるく
維子くうとらと合六拾正有以是教百
六拾正有右内維子危何法と台
善 維子宿宿之相 以是教九拾本
うとらと正 以是教六拾本
法心八種後々全剛六種
ハ代浪うとら此是四本ハ純の重展維
子の是式本ハ布し重展とるく
南水友材く細り合式千石此は物成り
九百八拾七石本之南ハ四り成心ハ五り分
法心八種後々全剛六種
善 南より七百五拾石は物成三百石
少より千二百拾石は物成六百七拾石
法心八種後々全剛六種
右ハ外心く好有とらと右く意法と
とらて法心ハ知と下ハ四者ハ考と

